



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社
 コード番号 4112 URL <https://www.hodogaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松本 祐人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 砂田 栄一 TEL 03-5299-8019
 兼経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,549	2.0	811	△28.1	792	△42.5	562	△43.4
2019年3月期第2四半期	17,213	△9.1	1,129	△44.8	1,377	△44.9	993	△39.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △377百万円 (-%) 2019年3月期第2四半期 1,331百万円 (△48.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	71.23	—
2019年3月期第2四半期	125.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	54,759	36,197	61.2
2019年3月期	57,140	36,860	59.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 33,530百万円 2019年3月期 33,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△4.1	1,400	△53.8	1,400	△54.9	600	△68.1	75.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	8,413,726株	2019年3月期	8,413,726株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	510,373株	2019年3月期	511,715株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	7,903,106株	2019年3月期2Q	7,901,311株

※ 四半期決算短信は従来より監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における各国経済の動向について見てみますと、米国経済は、良好な雇用環境を背景に個人消費は堅調に推移しましたが、米中貿易摩擦をめぐる不確実性の高まりを受け、製造業の景況感が一段と低下しました。欧州経済は、中国の景気減速を受け、ドイツを中心とした輸出の低迷等により、景気の減速が続きました。中国経済は、減税等の金融・財政政策による景気の下支え対策を行っているものの、米中貿易摩擦を背景とした輸出の鈍化等、景気は減速傾向となっています。以上のように、先行きの各国経済の不透明感が強まる中、わが国経済は、米中貿易摩擦の激化、対韓輸出規制の影響、中東等の地政学的リスク、円高リスクに加え、消費増税後の国内消費の落ち込みへの懸念もあり、厳しい環境を予想せざるを得ない状況といえます。

このような情勢下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比335百万円増(2.0%増)の17,549百万円になりました。損益面では、売上原価の増加等により、営業利益は、前年同期比317百万円減(28.1%減)の811百万円となりました。また、経常利益は、前年同期比585百万円減(42.5%減)の792百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比431百万円減(43.4%減)の562百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

〔機能性色素セグメント〕

イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要低迷が続いており、減収となりました。一方で、有機EL材料事業は、ディスプレイ分野での需要が堅調に推移し、前年同期並みとなりました。色素材料事業は、デジタル家電向けアルミ着色用染料が、前半は需要に対し生産が追い付かず、後半になると需要そのものの減少により、減収となりましたが、繊維向け染料の需要が増加し、前年同期並みとなりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比71百万円増(1.4%増)の5,337百万円となりました。

〔機能性樹脂セグメント〕

樹脂材料は、ウレタン原料向けの需要が減少し、減収となりました。また、建築材料事業は、工事は大型案件の獲得により増加しましたが、材料販売が振るわず、前年同期並みとなりました。一方で、特殊化学品事業は、医薬向けの需要などが増加し、大幅な増収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比118百万円増(2.1%増)の5,774百万円となりました。

〔基礎化学品セグメント〕

過炭酸ソーダの需要が増加し、増収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比177百万円増(5.2%増)の3,590百万円となりました。

〔アグロサイエンスセグメント〕

家庭園芸向け除草剤等は、需要が減少し、大幅な減収となりました。一方で、ゴルフ場・農耕地向け除草剤や、殺虫剤等で需要が増加し、大幅な増収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比11百万円増(0.6%増)の1,797百万円となりました。

〔物流関連セグメント〕

倉庫保管量や、輸出の取り扱い量の減少により、減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比48百万円減(4.7%減)の973百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末(9月末)における資産合計は、54,759百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比2,381百万円の減少となりました。

主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少3,041百万円、投資有価証券の減少772百万円、現金及び預金の増加213百万円、原材料及び貯蔵品の増加313百万円、有形・無形固定資産の増加899百万円等であります。

負債合計は、18,561百万円となり、前連結会計年度末比1,718百万円の減少となりました。

主な増減要因は、支払手形及び買掛金の減少1,482百万円、短期・長期借入金の減少783百万円等であります。

純資産合計は、36,197百万円となり、前連結会計年度末比662百万円の減少となりました。

主な増減要因は、その他有価証券評価差額金の減少542百万円、為替換算調整勘定の減少260百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は61.2%となり、前連結会計年度末の59.5%から1.7ポイント改善しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境等を踏まえ、2019年5月14日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2019年11月8日に公表した

「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,559	7,773
受取手形及び売掛金	12,438	9,397
商品及び製品	4,246	4,415
仕掛品	523	426
原材料及び貯蔵品	2,023	2,337
その他	570	535
貸倒引当金	△18	△12
流動資産合計	27,344	24,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,820	5,528
土地	11,975	11,971
その他(純額)	2,982	4,181
有形固定資産合計	20,778	21,681
無形固定資産		
その他	151	147
無形固定資産合計	151	147
投資その他の資産		
投資有価証券	7,331	6,559
長期貸付金	266	262
繰延税金資産	338	338
退職給付に係る資産	400	432
その他	726	661
貸倒引当金	△197	△197
投資その他の資産合計	8,865	8,056
固定資産合計	29,795	29,886
資産合計	57,140	54,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,564	4,081
短期借入金	3,514	3,291
未払法人税等	410	295
引当金	490	504
その他	1,783	1,917
流動負債合計	11,763	10,089
固定負債		
長期借入金	5,089	4,529
繰延税金負債	1,458	1,200
再評価に係る繰延税金負債	1,228	1,228
引当金	82	82
退職給付に係る負債	85	91
資産除去債務	80	80
その他	492	1,259
固定負債合計	8,517	8,472
負債合計	20,280	18,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	8,716	8,715
利益剰余金	9,933	10,298
自己株式	△1,716	△1,711
株主資本合計	28,129	28,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,097	1,555
土地再評価差額金	2,783	2,783
為替換算調整勘定	718	458
退職給付に係る調整累計額	247	234
その他の包括利益累計額合計	5,846	5,031
非支配株主持分	2,883	2,666
純資産合計	36,860	36,197
負債純資産合計	57,140	54,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,213	17,549
売上原価	11,309	11,917
売上総利益	5,904	5,631
販売費及び一般管理費	4,774	4,819
営業利益	1,129	811
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	110	111
為替差益	114	—
固定資産賃貸料	29	30
雑収入	69	82
営業外収益合計	330	232
営業外費用		
支払利息	32	32
為替差損	—	169
環境関連整備費	42	33
雑損失	7	16
営業外費用合計	82	252
経常利益	1,377	792
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	6	10
投資有価証券評価損	—	26
特別損失合計	6	37
税金等調整前四半期純利益	1,371	755
法人税等	194	127
四半期純利益	1,177	628
非支配株主に帰属する四半期純利益	183	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	993	562

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,177	628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	△542
為替換算調整勘定	123	△450
退職給付に係る調整額	△44	△12
その他の包括利益合計	154	△1,005
四半期包括利益	1,331	△377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,124	△252
非支配株主に係る四半期包括利益	207	△124

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,371	755
減価償却費	662	705
のれん償却額	4	—
引当金の増減額 (△は減少)	△1	9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△54	△43
受取利息及び受取配当金	△117	△119
支払利息	32	32
為替差損益 (△は益)	△79	76
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△0
有形固定資産除却損	6	10
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	26
売上債権の増減額 (△は増加)	2,931	2,991
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△954	△481
仕入債務の増減額 (△は減少)	△797	△1,449
その他の資産・負債の増減額	△373	△225
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17	62
その他	△2	79
小計	2,610	2,431
利息及び配当金の受取額	117	117
利息の支払額	△33	△33
法人税等の支払額	△252	△416
法人税等の還付額	51	46
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,493	2,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19	△19
定期預金の払戻による収入	19	19
有形及び無形固定資産の取得による支出	△878	△669
有形及び無形固定資産の売却による収入	3	1
有形固定資産の除却による支出	—	△6
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	30	—
貸付けによる支出	△17	△15
貸付金の回収による収入	14	14
差入保証金の差入による支出	△24	△7
差入保証金の回収による収入	3	31
その他	△4	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△875	△650

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△702	△783
配当金の支払額	△198	△197
非支配株主への配当金の支払額	△9	△91
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△1	△1
リース債務の返済による支出	△13	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△924	△1,101
現金及び現金同等物に係る換算差額	111	△170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	804	221
現金及び現金同等物の期首残高	6,583	7,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,388	7,664

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、
税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	5,266	5,655	3,412	1,786	1,021	17,142	71	17,213	—	17,213
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	72	82	38	—	725	919	70	990	△990	—
計	5,339	5,737	3,451	1,786	1,747	18,061	142	18,204	△990	17,213
セグメント利益 又は損失(△)	454	149	294	△6	241	1,133	△2	1,130	△1	1,129

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、
ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体

(3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料

(4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	5,337	5,774	3,590	1,797	973	17,472	76	17,549	—	17,549
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84	90	86	—	753	1,014	43	1,058	△1,058	—
計	5,421	5,864	3,676	1,797	1,726	18,487	120	18,607	△1,058	17,549
セグメント利益 又は損失(△)	279	276	206	△134	210	838	△28	810	1	811

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、
ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2019年10月1日より、確定給付企業年金制度を確定拠出年金制度へ移行しております。

移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号2016年12月16日改正)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号2007年2月7日改正)を適用する予定であります。

なお、本移行に伴う影響額については、現在算定中です。